

両小野バイパス建設期成同盟会からのお知らせ

令和8年3月発行

両小野バイパス建設期成同盟会から塩尻市北小野地区、辰野町小野区の住民の皆様へ、一般国道153号両小野バイパス（以下「両小野BP」という。）建設に係る事業進捗状況についてお知らせします。

国による道路計画の体系は「①上位計画段階」、「②構想段階」、「③詳細計画段階」、「④事業段階（事業化）」、「⑤管理段階」に分類され、①から順番にすべての段階を踏む必要があるところ、**両小野BPは令和4年3月から「②構想段階」に入っています。**

長野県では、これまでに実施してきた調査、住民アンケート及び意見交換の結果を踏まえて、昨年12月に両小野BPの**複数ルート帯案作成の設計業務を発注**しており、**令和8年度は、両市町に複数ルート帯案を提示**したうえ、**住民の皆様へ意見を伺って検討に磨き**をかけてとしています。

道路建設等が開始される「④事業段階（事業化）」までに要する期間について、一般国道153号伊駒アルプスロード（以下「伊駒AR」という。）の例では、「②構想段階」で8年間、「③詳細計画段階」で4年間の12年間を要しています。

また、「④事業段階（事業化）」の期間について、整備完了済の延長6.8kmの松島バイパスは29年間、延長9.2kmの伊南バイパスは21年間を要しています。

このため、両小野BP建設への道程は長期間に及ぶと予想されますが、両小野バイパス建設期成同盟会では、両市町等と連携のうえ、早期事業化にむけて国及び県への要望を継続して参ります。

住民の皆様には、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

項目	① 上位計画段階	② 構想段階	③ 詳細計画段階	④ 事業段階（事業化）	⑤ 管理段階
両小野BP		R4.3～			
参考 伊駒AR		H20～H27 (8年間)	H28～R1 (4年間)	R2～	



上記は、令和7年12月22日に行った要望活動の写真です。

百瀬塩尻市長、武居辰野町長、両市町選出の県議会議員、期成同盟会関係者で長野県庁を訪問し、栗林長野県建設部長に「一般国道153号両小野バイパスに関する要望書」を手渡しました。